

地域をつなぎ、世代をつなぎ、  
時代をつなぎ、未来を創る

岩手県議会議員

佐々木 のぶかず

今年も本当に早いもので師走となりました、県議会は12月定例会が12月8日に閉会しまして今年の議会は終了となっております。

国においては12月2日に令和4年度の第2次補正予算が成立いたしました。来年初めから電気料金の引下げ、子ども・子育て対策、国内の投資促進による地方の活性化などを進めることが盛り込まれました。詳しくは2ページにまとめましたが1日も早くお届けし、実感できるように取組んでまいります。また県議会12月定例会におきましても関連する補正予算が成立しました。

今年にはコロナ禍が続き、ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮の相次ぐミサイル発射、円安・物価高など不安に感じることも多い一年でしたが、サッカー日本代表や北京冬季オリンピック、野球界での偉大な記録の達成など嬉しいニュースもたくさんありました。地域が元気になるように、一つ一つ課題が解決するように取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

岩手県議会議員 佐々木 宣和

## PROFILE

岩手県議会：議会運営委員会委員、文教委員会委員、デジタル社会・DX調査特別委員会委員長、東日本大震災津波調査特別委員会委員、新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会委員、岩手県都市計画審議会委員  
自由民主党岩手県支部連合会：広報委員長、青年局長、  
その他役職：全国林業改良普及協会副会長、岩手県生活衛生同業組合中央会顧問、岩手県KB野球連盟会長  
昭和58年11月23日生まれ38歳。岩泉小中、盛岡一高、早稲田大学理工学部卒業。座右の銘：自彊不息 資格：防災士

## 「岩手県中期財政見通し」と「令和5年度予算編成方針について」

「岩手県中期財政見通し(令和4年度～8年度)」と「令和5年度予算編成方針について」予算編成の基本的考え方が示されました。また、行財政研究会による「持続可能で希望ある岩手を実現するための行財政改革に関する報告書」も示されました。

### ◆中期財政見通し

一定の前提条件をもとに機械的に試算した財政シミュレーションです。人口減少の影響により一般財源総額が毎年度減少する一方、定年引上げに伴う給与費の増加や高齢化の進行等に伴い社会保障関係費が増加傾向にあるほか、交際費も増加傾向に転じる見込みで、財政状況は一層厳しさを増す見込みであります。

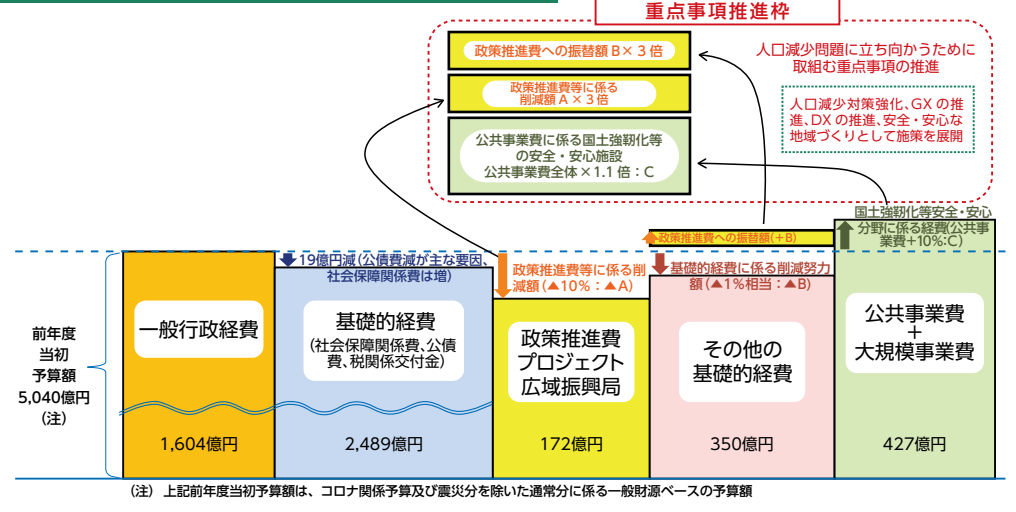
### ◆令和5年度当初予算に当たっての基本的方針 (一部抜粋)

- 新型コロナウイルス感染症対策に係る事業予算を含む年間予算として編成
- (震災分)被災者の心のケア等、継続が必要となる事業を計上(災害復旧事業以外の普通建設事業は通常分の事業として枠内で実施)
- 中期財政見通しのとおり、令和5年度以降、人口減少を背景とした実質的な一般財源の減少などによる大幅な財源不足額が見込まれることから、主要経費について、政策的経費及び広域振興局予算にシーリング枠を設定するとともに、昨年度に引き続き、基礎的経費の厳格な精査を求める。
- 行財政研究会等の議論を踏まえ、これまでの強みを活かしつつ希望ある岩手を実現するため、必要となる4つの財政目標を設定した上で、重点事項(①人口減少対策の強化、②GXの推進、③DXの推進、④安全・安心な地域づくり)については、シーリングによる財源捻出の3倍相当の額の予算要求を認める。また、公共事業にあっては、前年度予算額の1.10倍のシーリングとし、1.00倍を超える部分については、国土強靭化等の安全・安心分野に限り予算要求を認める。  
(※令和7年度までの国土強靭化計画について、令和5年から3か年を加速化期間として1割相当の事業費上乗せを実施)

### 岩手県中期財政見通し(令和4年度～8年度)

	R3 当初予算	R4 当初予算	R5	R6	R7	R8	R4→8	傾向
通常分								
歳入 A	6,428	6,364	6,363	6,354	6,335	6,286	▲78	↓
(人口減少による影響額:対R4)			▲11	▲24	▲35	▲48	▲48	↓
実質的な一般財源 (県税等+交付税等+臨時債-税交付金)	3,909	3,819	3,814	3,800	3,799	3,769	▲50	↓
歳出 B	6,479	6,479	6,480	6,490	6,486	6,443	▲36	↓
収支 A-B C	▲51	▲115	▲117	▲137	▲150	▲157	▲42	↓
財源対策基金年度末残高 D	678	579	507	415	310	197	▲381	↓

### 令和5年度当初予算編成に当たっての基本的な方針



# 国の令和4年度補正予算(第2号)

## I. 物価高騰・賃上げへの取組 78,170 億円

### 1. エネルギー・食料品等の価格高騰により厳しい状況にある生活者・事業者への支援 63,168 億円

- 電気料金対策 [24,870 億円] ○ 都市ガス料金対策 [6,203 億円]
- 燃料油価格激変緩和措置 [30,272 億円] ○ 漁業経営セーフティネット構築事業 [330 億円]

等

### 2. エネルギー・食料品等の危機に強い経済構造への転換 4,257 億円

- LNG 安定供給強化対策 [236 億円] ○ 省エネ・再エネの推進 [3,849 億円\*]
- 石油ガス販売事業の配送合理化補助金等 [153 億円]
- 肥料の国内生産拡大 [110 億円] ○ 飼料作物の国産化の推進 [100 億円\*]

等

### 3. 継続的な賃上げの促進・中小企業支援 10,745 億円

- 中小企業等事業再構築促進事業・中小企業生産性革命推進事業 [7,800 億円] ○ 資金繰り支援 [2,609 億円]

等

## II. 円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化 34,863 億円

### 1. コロナ禍からの需要回復、地域活性化 24,055 億円

- インバウンド観光の復活、観光地・観光産業の再生・高付加価値化等 [1,500 億円]
- 検疫体制の確保 [592 億円]

等

### 2. 円安を活かした経済構造の強靱化 10,809 億円

- 先端半導体生産基盤整備基金 [4,500 億円] ○ 農林水産物の輸出拡大 [440 億円\*]
- サプライチェーン対策 (重要鉱物 [2,158 億円]、工作機械 [416 億円]、航空機部素材 [417 億円] 等)

等

## III. 「新しい資本主義」の加速 54,956 億円

### 1. 「人への投資」の抜本強化と成長分野への労働移動：構造的賃上げに向けた一体改革 11,313 億円

- 人への投資策 [5 年 1 兆円] への拡大 [832 億円] (4 年度 5 年度予算を含め 3,000 億円程度)
- 雇用保険財政の安定 [7,276 億円] ○ 大学等の機能強化 (理系転換等支援) [3,002 億円]

### 2. 成長分野における大胆な投資の促進 40,552 億円

\* 他の柱に整理されている事業も含め 6 兆円程度

#### (1) 科学技術イノベーション

- 先端国際共同研究推進事業 [501 億円] ○ バイオものづくり革命推進事業 [3,000 億円]
- 宇宙 [639 億円] ○ 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 [2,000 億円]
- 経済安全保障重要技術育成プログラム [2,500 億円] 等

#### (2) スタートアップの起業加速

- \* 他の柱に整理されている事業も含め 1 兆円程度
- 大学を中心としたスタートアップエコシステム形成の推進 [1,500 億円\*]
- SBIR 制度の拡充 [2,060 億円] ○ ディープテック・スタートアップ支援事業 [1,000 億円]

#### (3) GX

- グリーンイノベーション基金 [3,000 億円] ○ クリーンエネルギー自動車導入促進 [700 億円]
- グリーン社会に不可欠な蓄電池の製造サプライチェーン強靱化支援事業 [3,316 億円]

#### (4) DX

- ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業 [4,850 億円\*]
- Beyond 5G (6G) (革新的な情報通信技術の研究開発推進のための恒久的な基金の造成) [662 億円]
- デジタル田園都市国家構想交付金 [800 億円] ○ マイナンバーカード普及促進 [630 億円] 3. 包摂社会の実現

### 3. 包摂社会の実現 3,091 億円

- 出産 子育て応援交付金 [1,267 億円] ○ 「新子育て安心プラン」に基づく保育の受け皿整備 [349 億円]

等

## IV. 防災・減災、国土強靱化の推進、外交・安全保障環境の変化への対応など、国民の安全・安心の確保 75,472 億円

- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 (病床の確保等) [15,189 億円]
- ワクチンの確保、接種体制の整備・接種の実施 [12,072 億円]
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (国庫補助事業等の地方負担分検査促進枠) [7,500 億円]
- 防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策 (公共事業関係費) [12,502 億円]
- 災害復旧 [5,144 億円] ○ 自衛隊等の変化する安全保障環境への対応 [3,248 億円]
- ウクライナ及び周辺国への支援 [1,140 億円]
- アジア (ASEAN・南西アジア等)、島嶼国、中東、アフリカ等の途上国向け支援 (グローバル・サウスを支援) [1,022 億円]
- こどもの安心・安全対策支援パッケージ (送迎用バスの安全装置改修支援等) [234 億円]

等

## V. 今後への備え 47,400 億円

- 新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策予備費 [37,400 億円]
- ウクライナ情勢経済緊急対応予備費 [10,000 億円]

## ■ 一般会計補正予算の追加歳出 290,861 億円

## ■ 補正予算の追加歳出 (対策国費の特別会計補正予算分含む) 296,332 億円

\* 他の柱に整理されている事業も含んだ金額

(参考 1) 令和 4 年度一般会計補正予算 (第 2 号) においては、上記「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」(令和 4 年 10 月 28 日閣議決定) の実行に係る国費 (一般会計補正予算の追加歳出 290,861 億円) に加え、光熱水料等の追加財政需要 [2,229 億円] 等を計上。

(参考 2) 上記「補正予算の追加歳出 296,332 億円」には、一般会計補正予算の追加歳出 290,861 億円のほか、交付税及び譲与税配付金特別会計補正予算の追加歳出 2,863 億円、労働保険特別会計補正予算の追加歳出 1,721 億円等を含む。

# 令和4年度 岩手県一般会計第7号補正予算案（12月定例会追加提案分）

## 岩手県原油価格・物価高騰対策について

- コロナ禍における原油価格・物価高騰等への対策として、累次の補正予算の編成により、生活困窮者及び子育て世帯支援をはじめとした生活者支援、中小企業者や農林水産業者、運輸・交通事業者等への幅広い事業者支援を実施。
- 予算総額：12,340 百万円（生活者支援関連 7,720 百万円、事業者支援関連 4,057 百万円、その他 564 百万円）

[新] は新規事業

### 1. 生活者支援 関連 [7,720 百万円 (12月追加提案：1,427 百万円)]

- 1 いわて県民応援プレミアムポイント還元事業費 1,100 百万円【補正後現計 2,200 百万円】〔商工労働観光部〕**  
QR コード決済による商品・サービス等の購入・利用に対し決済額の 20% 分のポイントを還元し、県民生活を支援するとともに県内経済の活性化を促進するための経費
- [新] 2 生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策費補助 327 百万円〔保健福祉部〕**  
困窮する高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯等の光熱水費や防寒用品等の経済的負担の軽減を図るため、市町村が実施する原油価格・物価高騰等特別対策事業に対する補助

### 2. 事業者支援 関連 [4,057 百万円 (12月追加提案：1,519 百万円)]

- [新] 1 医療施設等物価高騰対策支援費 445 百万円〔保健福祉部〕**  
光熱水費が高騰している医療施設や薬局等の負担を軽減するための支援金の給付に要する経費
- [新] 2 社会福祉施設等物価高騰対策支援費 503 百万円〔保健福祉部〕**  
光熱水費が高騰している介護施設や障がい福祉施設等の負担を軽減するための支援金の給付に要する経費
- [新] 3 看護職員確保対策費（看護師等養成所運営費補助） 7 百万円〔保健福祉部〕**  
光熱水費が高騰している民間立看護師等養成所の負担を軽減するため運営費を補助
- [新] 4 肥料価格高騰緊急対策費補助 361 百万円〔農林水産部〕**  
肥料の価格高騰による農業者等の負担を軽減するため、肥料の購入に要する経費を補助
- 5 配合飼料価格安定緊急対策費補助 73 百万円【補正後現計 362 百万円】〔農林水産部〕**  
配合飼料の価格高騰による畜産農家等の負担を軽減するため、配合飼料の購入に要する経費を補助
- [新] 6 農業水利施設管理電力価格高騰緊急対策費補助 65 百万円〔農林水産部〕**  
電気料金の高騰による土地改良区の負担を軽減するため、電気料金を補助
- [新] 7 水産業資材価格高騰緊急対策費補助 66 百万円〔農林水産部〕**  
資材価格の高騰による漁業者等の負担を軽減するため、漁業資材の価格高騰分を補助

### 3. コロナ分（補正予算額：4,491 百万円）

- 1 いわて旅応援プロジェクト推進費 2,090 百万円【補正後現計 3,621 百万円】〔商工労働観光部〕**  
国内居住者を対象とした宿泊代金等の割引や土産物店等で使用できるクーポン券の発行に要する経費の増額
- 2 感染症予防費（感染症予防事業等国庫負担補助金） 1,364 百万円【補正後現計 5,857 百万円】〔保健福祉部〕**  
行政検査に係る経費の増額
- 3 緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業費補助 607 百万円【補正後現計 728 百万円】〔保健福祉部〕**  
介護サービス事業所等での新型コロナウイルス感染症の発生時における人件費等のかかり増し経費を補助
- 4 障がい福祉サービス支援事業費補助 39 百万円【補正後現計 53 百万円】〔保健福祉部〕**  
障害福祉サービス事業所等での新型コロナウイルス感染症の発生時における人件費等のかかり増し経費を補助
- [新] 5 いわて食財海外新規市場開拓事業費負担金 23 百万円〔農林水産部〕**  
農林水産物等の輸出拡大を図ることを目的としたカナダにおける知事トップセールスに要する経費

### 4. 子ども子育て支援関係事業（補正予算額：1,299 百万円）

- [新] 1 出産・子育て応援事業費補助 927 百万円〔保健福祉部〕**  
妊婦等の孤立感・不安感を解消するための経済的支援（10 万円相当）及び伴走型相談支援を実施する市町村に対する補助

#### 送迎バスへの安全装置設置関連

趣旨：「こどもの安心・安全対策支援パッケージ」の推進に向けて、認可外保育所や障がい児通所施設、幼稚園、特別支援学校の送迎バスへの安全装置等の設置に係る経費を計上するもの。 **総額 372 百万円**

	認可外保育施設、障がい児通所施設			私立幼稚園 (子ども・子育て支援新制度移行園含む)			市町村立幼稚園、市町村立小中学校、特別支援学校		
	送迎バス 安全装置導入	登園管理 システム導入	こどもの見守り タグ(GPS)導入	送迎バス 安全装置導入	登園管理 システム導入	こどもの見守り タグ(GPS)導入	送迎バス 安全装置導入	登園管理 システム導入	こどもの見守り タグ(GPS)導入
台数、施設数	506	229	229	63	39	39	398	29	29

## 市町村重点要望調査を実施



9月26日～29日までの4日間にわたり、自民党岩手県連・県議会自民党会派合同の市町村重点要望調査を行いました。藤原崇衆議院議員、広瀬めぐみ参議院議員をはじめ

13人の県議会議員が2班に分かれての調査となりました。

長年要望のある道路をはじめとする社会資本整備や、有害鳥獣害対策、家畜獣医師の地域偏在、原油価格・物価高騰対策等について等、185項目の要望をいただきました。直面する課題に対応するとともに、地域特有の課題を解決するために連携を広めながらしっかりと取り組んでまいります。

## 港湾議員連盟現地調査を実施

11月1日2日、県議会港湾振興議員連盟現地調査。富山県の伏木富山港、金沢港クルーズターミナルを訪れ取り組みを勉強



してまいりました。震災後県内4つの重要港湾は復旧と同時に機能の強化が図られてまいりました。宮古港においてはフェリーターミナルが整備され、平成30年6月に宮古・室蘭航路が開設されましたが令和2年4月から宮古への寄港が一時休止されています。各地の先進事例も参考に宮古港の利活用に引き続き取り組んでまいります。

## 中央陳情を実施



11月16日、自民党岩手県連・県議会自民党会派の中央陳情を実施いたしました。

財務省では鈴木俊一大臣、復興庁では小島敏文副大臣、農林水産省では勝俣孝明副大臣、

デジタル庁では大申正樹副大臣、経済産業省では長峯誠政務官、国土交通省では吉岡幹雄技監、自民党本部では新藤義孝政務調査会長代行にそれぞれご対応をいただきました。政策が前に進むようにしっかりと取り組んでまいります。

## 現地沿岸振興会議に参加

11月22日、令和4年度現地沿岸振興会議に出席。知事はじめ岩手県の幹部職員が出席のもと、「三陸の防災学習を通じた交流人口拡大の取組」をテーマに4名の方々から取り組みを発表いただきました。三陸沿岸道路をしっかりと活用しながら市町村や団体と連携し具体的な行動につながるよう取り組んでまいります。



## 復興特別委員会現地調査



11月11日、復興特別委員会（大船渡市）。下水道処理施設の未利用地を活用した企業活動について「アクアポニックスパークおおふなと」を調査。スマートフォンを使った津波避難疑似体験による震災伝承の取り組みについて、街中にあるQRコードを探しながら、現地の方々の教訓を知り、実際に避難場所である神社まで逃げることを体験しました。（株式会社キャッセン大船渡）

## 県北広域振興圏行政連絡会議に出席

11月21日、市町村長と振興局との行政連絡会議にオブザーバーとして出席。いわて県民計画第2期地域振興プラン（素案）の説明や令和5年度における県北広域振興局の施策の方向性について説明がありました。市町村長からは「方向性はいいが、課題解決に向けて具体的にどうするのか」といった意見が聞かれました。実効性のある施策となるよう取り組んでまいります。



## ひとつことコーナー

3年ぶりに宮古サーモンマラソンに参加。青山学院大学、日本大学の皆様の圧倒的なスピードに驚きました。選手の中にはお正月の箱根駅伝に出場する方もいるようで、非常に楽しみです。



## 知事要望を実施

10月25日知事要望を実施いたしました。33市町村から要望書をいただき、意見交換をした上で要望書



を取りまとめ、内容を説明をいたしました。中には自治体DXなど新たにいただいた分野もありました。知事からは「喫緊の課題について改めて認識した。必要なものは補正予算で対応したい」とコメントをいただきました。

## 決算特別委員会

10月18日から10月27日、決算特別委員会が行われました。令和3年度決算の特徴として、当初予算は令和2年度当初予算に比べて13.1%減少（1,218億円余）したこと。その後12回にわたる補正予算において新型コロナウイルス感染症対策が行われたことなどが挙げられます。私も市町村要望でいただいた項目、市町村との連携（人事交流）や農林水産業の振興、社会資本整備などについて各部局で質問をいたしました。

